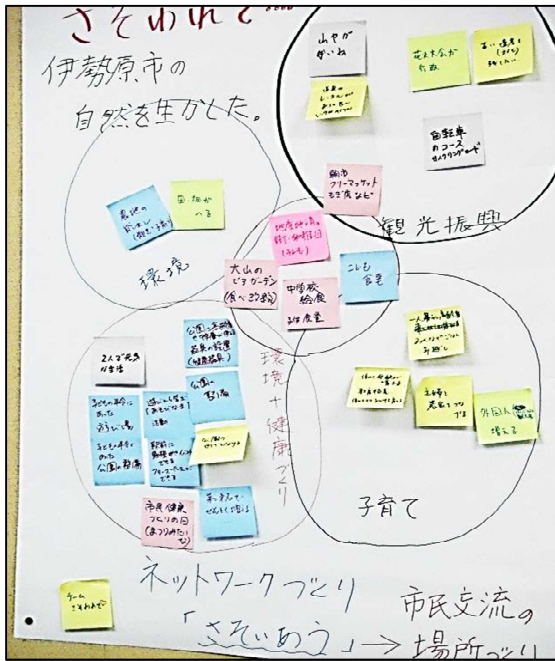


■ 6 / 17 市民向けワークショップ 各グループのまとめ



テーブル①

チーム名「さそわれて・・・」

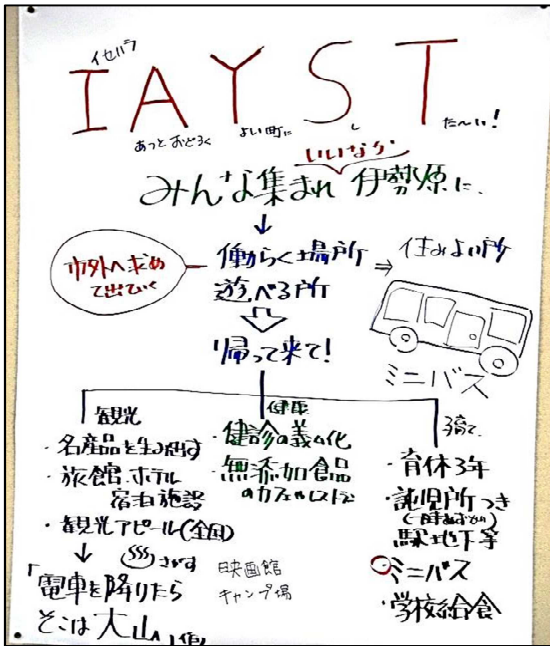
伊勢原市の自然を生かした取組
「さそいあう」ネットワークと場所づくり

【課題】

- ・新東名高速開通によって農地や自然が減少
- ・「何かしたい」と思う市民が、気軽に参加できる機会や場所がない
- ・公園で子どもが遊びにくい

【提案】

- ・サイクリングコースやレンタサイクルの整備
- ・大山ビアガーデン
- ・農業振興と子ども食堂や子育て世代との連携
- ・市民交流の場所作り、人と場や地域とのマッチングをするコーディネーターの導入



テーブル②

チーム名「IAYST」

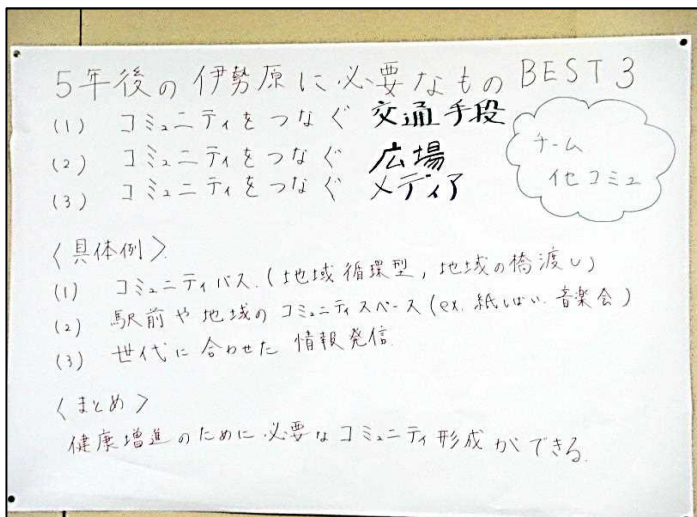
みんな集まれいいなか伊勢原に

【課題】

- ・若者が働く場所・遊べる場所を求めて市外に出て行ってしまふ
- ・観光アピールが足りない

【提案】

- ・ミニバス(観光・高齢者)
- ・無添加食品のカフェ・レストラン(地産地消)
- ・駅の近くに子どもの一時預かり所をつくる
- ・観光客が宿泊できる旅館・ホテルをつくる



テーブル③

チーム名「イセコミュ」

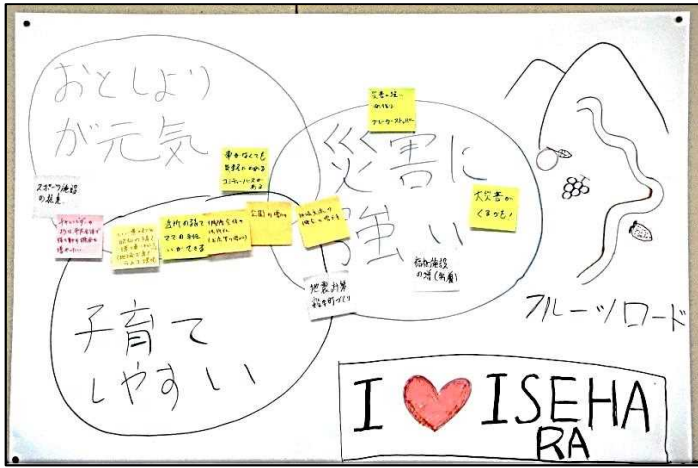
コミュニティをつなぐ

【課題】

- ・伊勢原市の代表的観光地である日向と大山の場所が遠く、二カ所同時に観光ができない
- ・自治会の加入率は高いが、活動は不活発

【提案】

- ・観光と生活で利用できるコミュニティバス
- ・駅前や地域のコミュニティスペースを増設(市民を巻き込んだ自治会活動)
- ・世代に合わせた情報発信



テーブル④

チーム名「I ♥ ISEHARA」

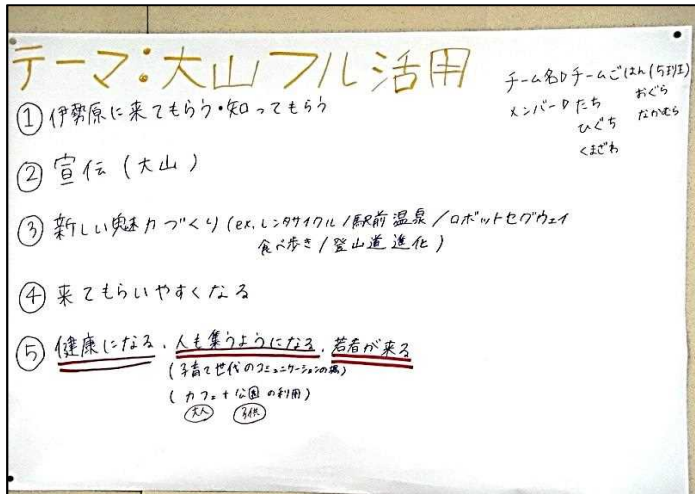
おとしりが元気・災害に強い・子育てしやすい

【課題】

- ・大規模災害が起こる可能性
- ・元気な高齢者を増やしたい

【提案】

- ・高齢者の足となるコミュニティバス
- ・高齢者に子育てを手伝ってもらう環境づくり (地域子育て)
- ・名産品のフルーツを食べながら大山に向かえる「フルーツロード」を作る
- ・災害に強い町作りのための地域連携



テーブル⑤

チーム名「ごはん」

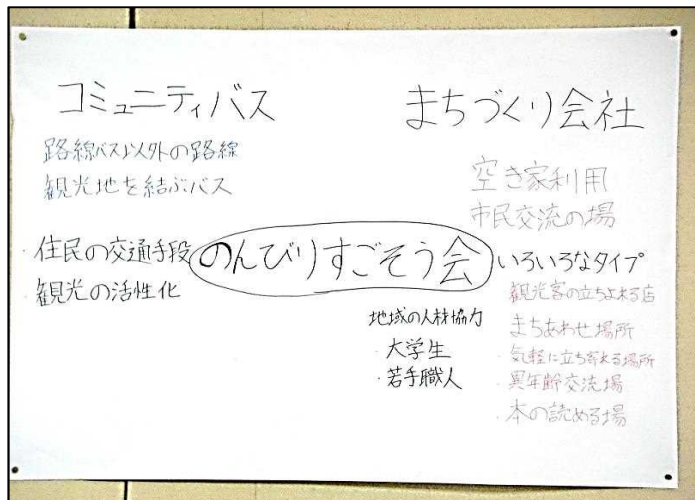
大山フル活用

【課題】

- ・伊勢原を知ってもらうための宣伝
- ・伊勢原の新しい魅力づくり
- ・空き家や放置された農地の増加

【提案】

- ・高齢者も歩ける大山の登山道整備
- ・子育てコミュニケーションの場をつくる (公園とカフェの併設、子育てママの悩み相談室)
- ・食べ歩きメニューの開発 (産能大・東海大・伊勢原高校との連携)
- ・放置された農地を小学生の農業体験に提供 → できた野菜を子ども食堂等へ寄付



テーブル⑥

チーム名「のんびりすごそう会」

まちづくり会社

【課題】

- ・市民に観光地がPRされていない
- ・空き家対策
- ・車がないと移動が大変、バスの本数が少ない

【提案】

- ・大山と日向をつなぐコミュニティバス、伊勢原市の旧跡めぐりバス
- ・空き家を利用したコミュニケーションの場づくり (大学との連携、高齢者のつどえる場所)